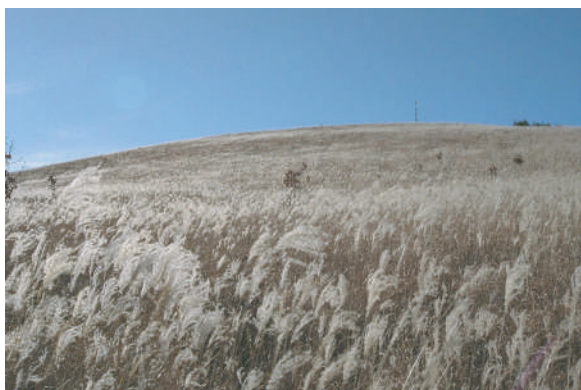


文化の交差点

bunka to bunka no kousaten

はなすき
2023年花芒号



contents...

サークル見聞録

劇団木霊二〇二三年新人公演

『渴き、華』を観て

p1

早大劇研企画公演

『アオハルネゴシエーション』を観て

p2

文化の案内板

劇団木霊×早大劇研 / 繊維研究会

p3

国際問題研究会 / 戦争・貧困・環境を考える会

p4

舞台美術研究会

p5

「文化の交差点」2023年花芒号

発行日:10月23日

発行者:「文化の交差点」編集委員会 代表・神原 (教育4年)

連絡先:090-2331-4456

waseda-bunren@hotmail.co.jp



劇団木霊二〇二三年新人公演

『渴き、華』を観て

(9月16～19日 @劇団木霊アトリエ)



ゾンビといえば、真夜中に墓の中から出てきて、叫び声をあげながら人を襲うのが定番。しかし『渴き、華』のゾンビたちは人間味があって、それぞれに個性があって面白い。彼らはむしろ、腐乱した肉体に化粧を施して生き続けることの辛さから解放されるため「死」を選択し、最後の7日間を全力で駆け抜ける——よどみない会話の繋がりコミカルさの合わせ技で観ていて楽しかった一方、人間だった時の辛い記憶が甦り夜の墓場を徘徊するシーンはリアルで迫力がありません。唯一過去の記憶がなく一人で仲間を励まし続ける孤独なゾンビや、生きることの喜びを仲間とともに味わう生まれだてのゾンビなど、ゾンビはゾンビでも、やはり人間っぽい…奇妙さを保ちつつも豊かな“人間模様”を演じきった新人の役者さん、スタッフさんのエネルギー、創意性にとても刺激を受けました。

数ある名場面の中で一つだけあげるならば、村長ゾンビが朽ちた腕を仲間にも曲げられた途端、村で飼われていたヒツジへと急変する場面。何ともいえない、絶妙な展開でした。さらに「北の国から」の「あ～～あ～～……」のオープニング曲が流れて、ヒツジが「ア、アリガトウ…」と人の言葉で別れを告げる場面はとても面白く、かつ素晴らしかったです。私はアトリエの一番奥の席にいたので角度がついて、光の当たり方も絶妙でした。舞台美術もかっこよくて、雰囲気がよく出ていました。墓場で夜の見守り役が歌い出す場面の瞬間の照明がとても綺麗でした。(柿枕)



早大劇研企画公演

『アオハルネゴシエーション』

(10月12日～16日 大隈講堂裏劇研アトリエ)



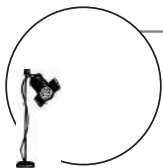
最初はドタバタ学園コメディと思わせて、途中からシリアスな会話劇に切り替わり、いい人に見えた登場人物が、実はエゴイスティックな内面を露にし、曲者に見えた人が一番まともだったりする——そんな“落差”に惹きつけられた。

この“落差”が自然な一連のストーリーとしてつながっているところに、脚本と役者の力を感じる。こんな学校ありえないよと思いつつ、所々やけにリアルに感じる場面（例えば最後に会計が二課長を問い詰めるシーン）があったりする。

極上のエンターテイメントでありながら、それだけじゃない——人間の心の襞に入り込み、感情と感情がぶつかり合う——そんな劇研の新たな作風の誕生を感じさせる芝居だった。これからも期待しています。

(国際問題研究会 戻り鯉)





劇団木霊×早大劇研 別役実作
『マッチ売りの少女』

日程 10月27日(金)～30日(月) ★本公演はダブルキャスト制です。

27日(金) 19:00A

A-齊藤真菜香 ダニエル 樺香[カコ] 傍見秋

28日(土) 14:00A/19:00B

B-うりのつる 葦崎大輔 樺香[カコ] 傍見秋

29日(日) 14:00B/19:00A

30日(月) 13:00A/17:00B

会場 早稲田小劇場どらま館

【チケット】

一般 2000円 / 学生 1000円

【ご予約】

<https://ticket.corich.jp/apply/283796/>

【お問い合わせ】

mail:gekiken.kodama2023@gmail.com

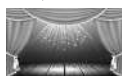
X:@gekiken_kodama

出演 うりのつる
樺香[カコ]
齊藤真菜香
ダニエル
葦崎大輔
傍見秋

主宰:翠 小島淳之介
潤色・演出:小島淳之介
企画:花城凜



ファッション
ショー



繊維研究会 早稲田祭ファッションショー
「そして廻る」

11月5日(日) [早稲田祭2日目]

15:10～15:55

場所:早稲田キャンパス11号館ピロティ

【お問い合わせ】
早稲田大学繊維研究会
<https://sen-i.org>
X:@sen_i_lab



@SENI_1949

国際問題研究会



早稲田祭2023 展示企画

研究展示「大戦の危機迫る
現代世界を問う」

日時 11月4日(土) 早稲田祭1日目
10:00~17:00

場所 早稲田キャンパス16号館306教室



昨年の早稲田祭での展
示の様子です

戦争・貧困・環境を考える会

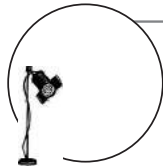


早稲田祭2023 展示企画

日本の新たなファシズムと
ウクライナ侵略に抗して

日時 11月5日(日) 早稲田祭2日目
10:00~17:00

場所 早稲田キャンパス8号館310教室



舞台美術研究会二〇二三年度秋季研究会公演

『整う！秋研』

日時 11月17日(金)～19日(日)
17日(金) 13:00～/19:00～
18日(土) 13:00～/18:00～(ネタ大会あり)
19日(日) 11:00～

会場 早稲田大学学生会館B203
料金 無料(フリーカンパ制)



【主宰】 柏田波希

【脚本】 柏田波希 しみずあかり ミア 【脚本原案】 G線上のサクラエビ 【演出】 しみずあかり

【出演】 浅芽生などか 岡野屋丈 梶原滴澄人(劇団くるめるシアター) 酒井悠真(劇団木霊)
久松凌空(劇団てあとろ50') ミア

【ご予約】 <https://ticket.corich.jp/apply/283730/>

【お問い合わせ】 akiken76yu@gmail.com

サークルの活動や企画紹介など、投稿募集中です！
お気軽にご連絡を！（連絡は表紙に掲載の「連絡先」まで）